

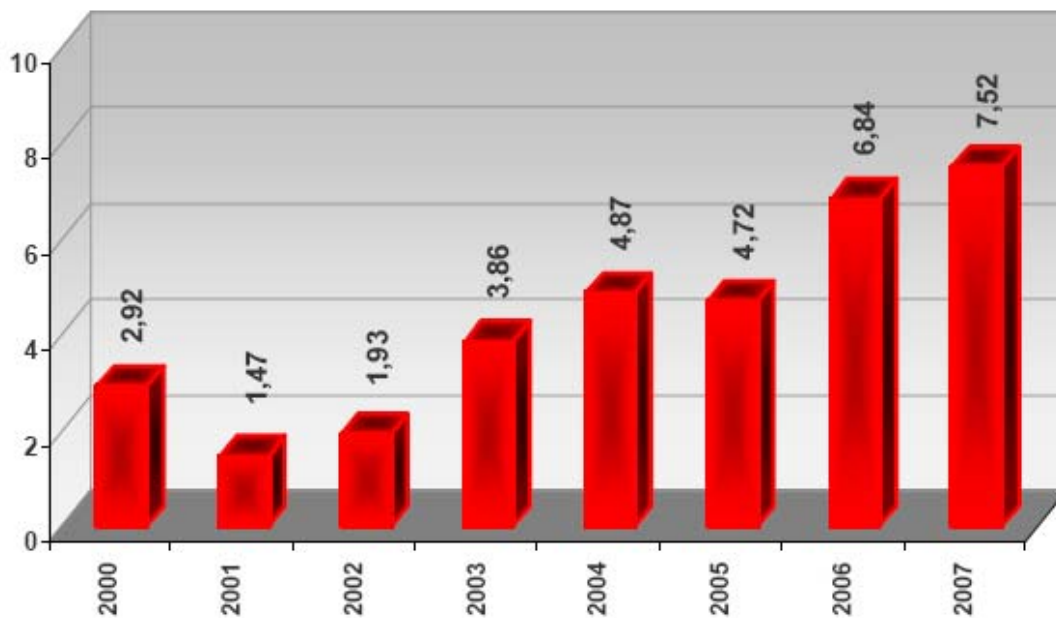
コロンビアの最新動向(3月16日～3月31日)

I. 政治・経済

1. 2007年GDP成長率は7.5%

- 3月28日、DANE(国家統計局)発表によると、コロンビア2007年第4四半期のGDP成長率は前年同期比8.14%と市場の予想(6%)を大きく上回った。2007年通期のGDP成長率は7.5%となった。(表1参照)
- セクター別では建設部門(13.3%)、運輸部門(12.5%)、製造部門(10.6%)、金融仲介サービス部門(22.5%)、商業サービス部門(10.4%)が高い成長を記録した。
- 2007年の国内需要の伸びは9.4%となり、投資は21.2%拡大した。一方、輸入は16.4%増加したのに対し、輸出の伸びは7.5%に留まった。

表1【コロンビアのGDP成長率推移】

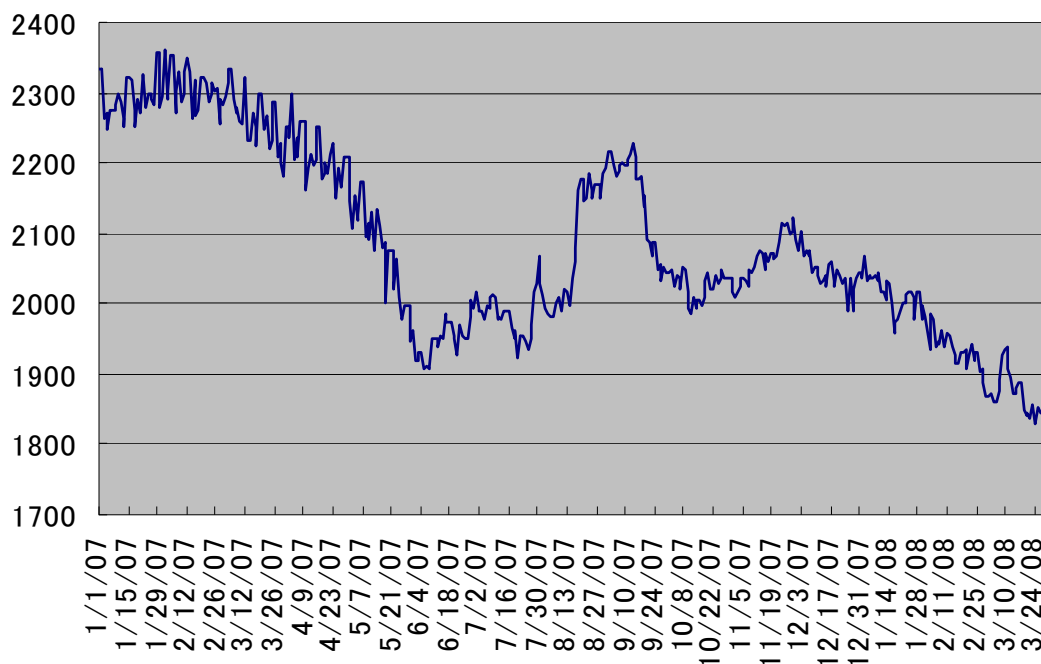


出所: DANE 資料

2. 公定歩合は据え置き、為替介入へ

- 3月28日、中銀は、公定歩合を9.75%に据え置く旨発表した。今回の決定は、米国及び世界経済の先行きが不透明なことから利上げを見合わせたもの。
- 一方、中銀はペソ高対策として今後12ヶ月間、毎月1.5億ドル、最大18億ドルのドル買いオペレーションを行う計画を発表した。
- ペソは2007年にドルに対し約11%上昇、2008年に入ってから更に上昇しており、輸出産業への圧迫が強まっている。(表2参照)

表 2 【コロンビアペソ(対ドルレート)推移】



出所: 市場データより作成

II. 石油その他の資源セクター

1. スペインCespa社がCaracara鉱区で利権獲得

- 3月24日、スペインの総合石油会社 Cespa 社が、ジャノ盆地の Caracara 鉱区(47,200ha)の利権70%を Hupecol Caracara 社より9.2億ドルで買収した。残り30%の利権は Ecopetrol が有する。
- Caracara 鉱区の生産は2万 b/d、推定埋蔵量は4,000万バレル。

2. Ecopetrol、2008年にNYSEに上場する計画

- 3月27日、Ecopetrol は2008年下期にNY証券取引所に上場(ADR)する計画を発表した。
- Ecopetrol は20%までの株式公開が認められており、2007年には10.1%の株式(約32億ドル)を国内で売却した。残り9.9%の公開は資金ニーズに合わせて行われる見通し。
- Ecopetrol は2008年にE&P及びリファイナリー事業に38億ドルを投じる計画。(2007年は17億ドル)

以上

本レポートは発表時の最新情報に基づいて作成されておりますが、情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、レポートの内容は今後予告なしに変更されることがあります。予めご了承下さい。